



2017年1月31日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
 代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦
 コード番号 4503
 (URL <http://www.astellas.com/jp>)
 東証 (第一部)
 決算期 3月
 問い合わせ先 広報部長 臼井 政明
 Tel: (03)3244-3201

(訂正)「平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について

アステラス製薬株式会社(本社:東京)は、2017年1月31日12時に開示しました「平成29年3月期第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の決算補足資料の記載に一部誤りがありましたので、下記の通り、訂正いたします。

記

1. 訂正箇所

決算補足資料 新薬開発状況 40 ページ 「4. 開発中止 (3) 一部適応での開発中止」の対象疾患

2. 訂正内容

【誤】 (3)一部適応での開発中止

開発コード 一般名	対象疾患	開発段階 地域	理由
ASP2215 ギルテリチニブ	急性骨髄性白血病	米国/日本/アジア P- I	併用療法における有害事象により、第 I 相試験を中止した。

【正】 (3)一部適応での開発中止

開発コード 一般名	対象疾患	開発段階 地域	理由
ASP2215 ギルテリチニブ	非小細胞肺がん	米国/日本/アジア P- I	併用療法における有害事象により、第 I 相試験を中止した。

以上

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述及びその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。